第四回歯髄再生医療研究会

抄　録　集

日　時：2025 年 10 月 5 日（日）10:00 ～13:30

会　場：国際くらしの医療館・神戸５階

主　催：一般社団法人　歯科再生医療協会

第4回　歯髄再生医療研究会　開催のご挨拶

一般社団法人歯科再生医療協会
代表理事
医療法人健康みらい　RD 歯科クリニック
理事長　中島　美砂子



この度、第四回歯髄再生医療研究会をオンサイトにて開催できますことを大変嬉しく存じます。おかげさまで当協会は発足から 3 年以上が経過し、現在では全国 28 の歯科医院にて歯髄再生治療が実施できる体制となりました。ひとえに日頃よりご尽力くださる先生方のおかげと、心より感謝申し上げます。

本研究会では、臨床経験豊富な先生方にご講演をいただき、最新の知見や症例を通じて、より実践的な技術の習得と理解を深めていただければと考えております。これまで 150 例を超える臨床実績から、その有効性と安全性は確かめられてきましたが、同時に技術的課題や集患の工夫など、今なお解決すべき点も少なくありません。

そこで本日は、単なる報告の場にとどまらず、互いの経験や疑問を率直に語り合い、活発な意見交換を重ねることで、より良い治療法の確立につなげてまいりたいと思います。どうかお仲間内の会として、形式にとらわれることなく、アットホームな雰囲気の中で自由にご発言いただき、実りある時間を共有できれば幸いです。

当協会は、今後も研究会やオンライン講習等を通じて皆様の交流と技術向上を支援し、蓄積された症例データや新たな治療技術のご紹介に努めてまいります。本日ここに集うお仲間の皆様方とともに、歯髄再生医療の発展に寄与できれば大変幸いに存じ上げます。

各演題の概要

松木先生からは、乳歯欠損・智歯未発育の自家不用歯のない若年症例に対し、根管充填を避けコラーゲン充填で経過観察する試みをお話いただき、歯髄反応のみならず病変や石灰化像を含む詳細な評価の必要性をご提案いただきます。

楳津先生からは、自由診療としての歯髄再生治療の価値を再考していただき、保険診療との違いやウズベキスタンの歯科事情を踏まえ、再生医療の自由診療における特殊性を論じていただきます。

吉橋先生からは、細胞移植後に根管内に石灰化物が形成され、再生が阻害された症例を報告していただき、失敗例の観察から原因や予防策について考察していただきます。

田中先生からは、69 本の症例での歯髄再生治療の成功率 100％のご経験から、根尖病変症例における移植タイミング、洗浄回数、隔壁の重要性について報告していただきます。

総合討論では、皆様から寄せられたいくつかの質問に対して、皆様で Discussion していただく予定です。

演題　1

「歯髄再生治療における新たな臨床的視点」

まつき歯科医院　　松木　良介

最近の取り組みとして、歯髄再生治療の症例数自体は増加していないものの、関連治療や発表を重ねてきた。特に乳歯がなく智歯の発育も不十分な若年患者に対し、将来の再治療を見据えて根管充填を避け、コラーゲンのみを根管に満たして経過観察する方法を試みている。さらに、この手法は根未完成歯への応用可能性も考えられる。また、パーフォレーションを伴う 2 症例の論文執筆にも取り組んでいるが、個人での論文化には困難を感じている。

地域の講演発表では、歯髄再生治療を特異な治療ではなく既存治療の延長として捉え、理解促進を図っている。患者説明においては治療結果を率直に伝えつつ、成功・失敗の定義が未確立である点を強調している。また、歯髄反応だけでなく、病変の有無や石灰化像などを組み合わせた詳細な評価など、今後の歯髄再生治療における術後評価があればいいのではと考えている。

演題　2

「自由診療としての歯髄再生治療を考える」

医療法人社団ゆめらいふ　新宿三丁目北歯科　楳津　徳弘

歯髄再生治療を行っている歯科医院これから行おうとしている歯科医院の保険診療収入と自由診療収入（保険外収入）の割合は、様々だと思います。自由診療専門歯科医院では、考え方がシンプルで良いのですが保険医療機関での自由診療は、その扱いが難しいものがあると思います。

そこで一度ここで立ち止まって、自由診療の価値、高額な歯髄再生治療の価値を再確認し、頭の中をすっきりした形で、今後進めていけるようまとめてみました。

具体的には、根管治療の保険と自由診療の違い、ほぼ100%自由診療のウズベキスタンの歯科事情、そして同じ自由診療の中でも再生医療の特殊性などをご説明しながら、お話してみたいと思います。

演題　3

「根管内石灰化物形成による歯髄再生治療の失敗」

医療法人社団グッドブリッジ　歯のクリニック東京　　吉橋　典章

当院での歯髄幹細胞移植歯が 30 本を越え経過を観察する機会が増えるに従い、根管内の望まない場所に石灰化物が形成される症例に度々遭遇するようになった。根管内が水平的に遮断されると、それより歯冠側に歯髄は期待できない。第二回歯髄再生医療研究会で報告した根尖病変（7 ㎜程度）のある症例の歯髄再生治療が石灰化物の形成により失敗した。そこで再度歯髄再生治療を行う過程で、その根管内を観察する機会を得た。今後同様のエックス線画像を見た時に今回の経験が今後の判断の一助になると感じた為、この経験を動画にて共有する。石灰化物が形成される原因、またできない為の工夫についてご意見を頂ければ幸いである。

演題　4

「根尖病変を伴う症例における歯髄再生治療の移植タイミングと成功率向上のポイント」

名古屋 RD 歯科クリニック　　田中　宏幸

2025 年 9 月現在、当院では歯髄再生治療を 69 本の歯に実施し、成功率は 100％を維持している。
経過観察も含めた長期的な感染予防には、適切な隔壁により、細菌の再侵入を防ぎ、経過観察中のトラブルを防止することが重要だと考えている。
今回、根尖病変を有する症例での移植のタイミング、根管洗浄から細菌陰性化までの回数、長期的な感染予防のための隔壁の重要性について報告する。

RD 歯科クリニックからの補足

医療法人健康みらい RD 歯科クリニック　中島　美砂子

１　ＫＢＭ根管細菌検査と抗菌薬の選択法の研究開発

２　安全性確保のために注意していただきたい事項

歯科再生医療協会からのお知らせ

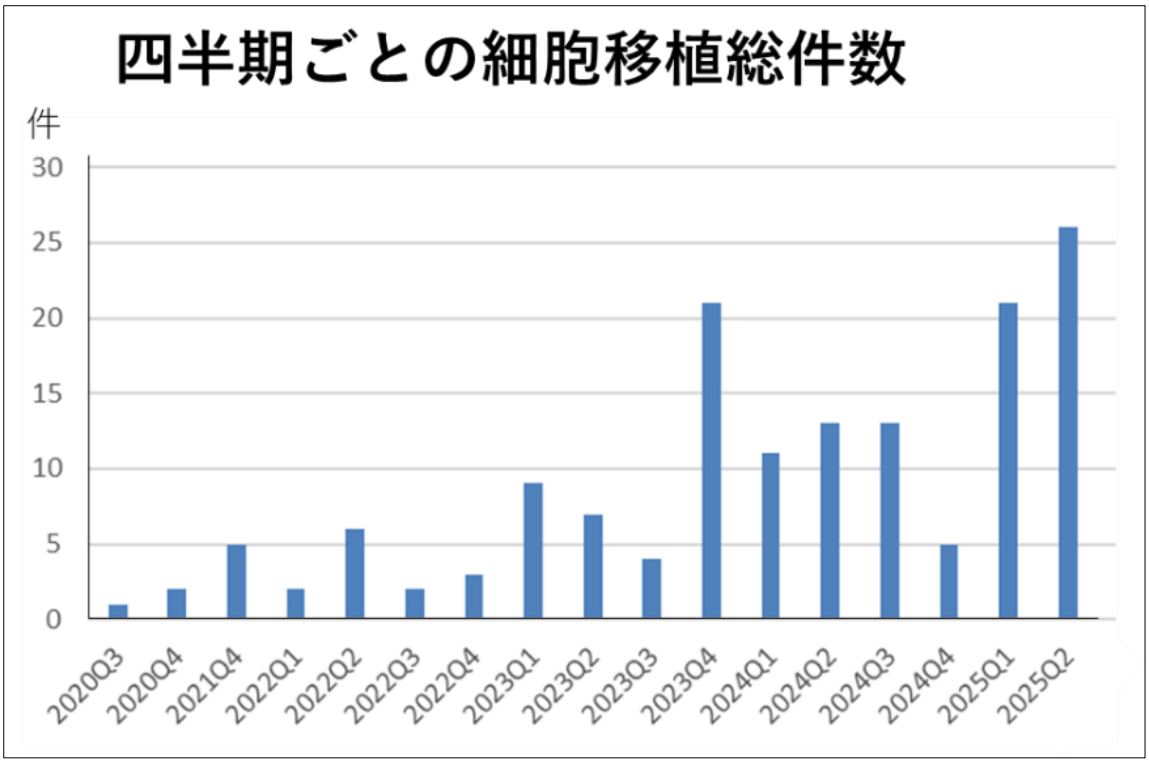
歯科再生医療協会　中島　美砂子

１　検証型歯髄再生治療に向けたご協力のお願い

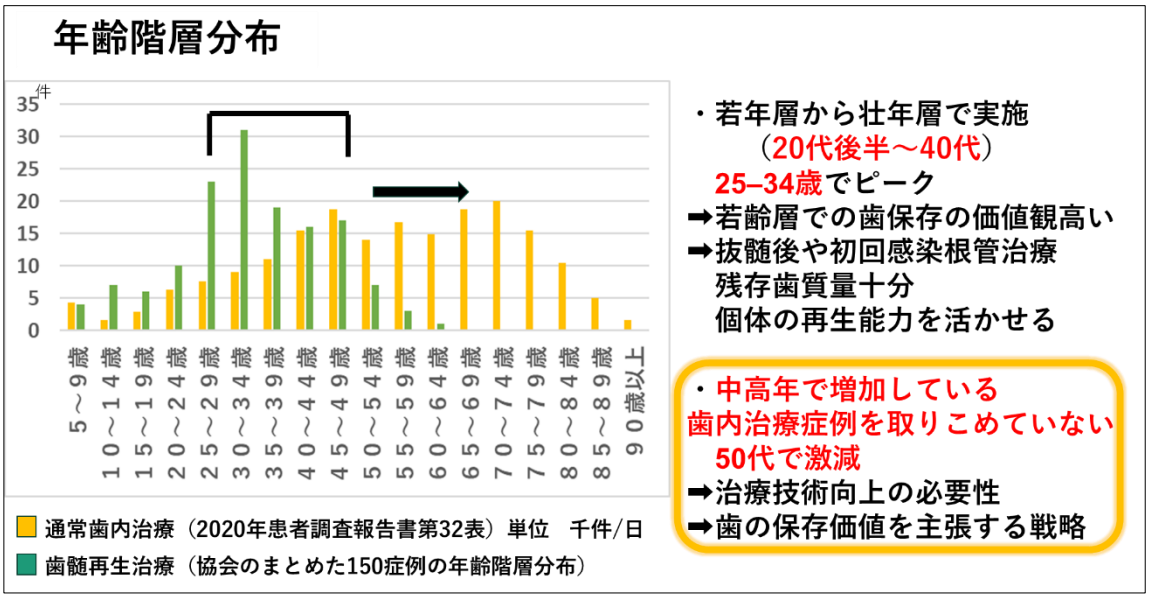
２　その他

歯髄再生治療の全体症例のまとめ

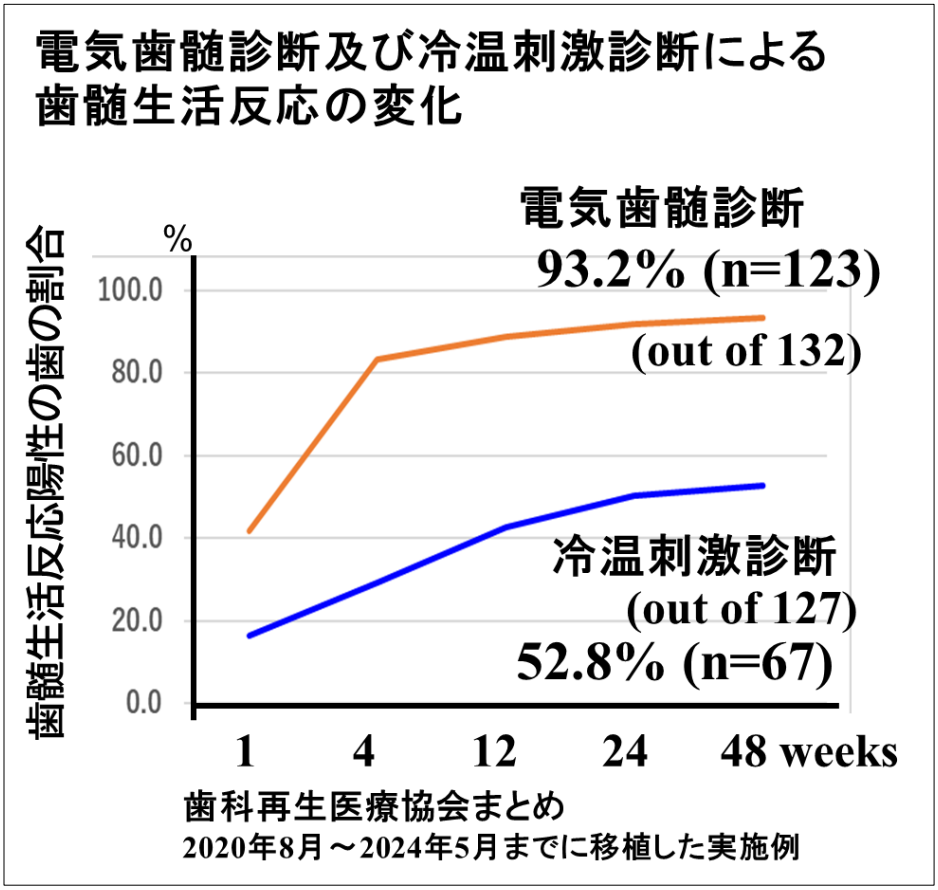
補足資料１



補足資料２



補足資料３



補足資料４

◆５０～６０代の歯内治療患者数の全体に対する割合　３割

	５０～６０代（千人/日）		全体数（千人/日）		歯内治療全体に対する割合（%）
抜髄治療	23.0	(35.8%)	74.0	(38.0%)	11.8
感染根管治療	41.3	(64.2%)	120.5	(62.0%)	21.2
歯内治療総数	64.3		194.5		**33.1**

安全性確保のための注意事項（RD 歯科クリニック）

移植前の移植可否判定

【感染症・全身状態に関する基準】

・明らかな全身感染症の臨床症状が認められないこと
発熱（37.5° C以上）、倦怠感、悪寒、発汗、関節痛、筋肉痛、体重減少、食欲不振

・血液検査において、以下の臓器機能が保たれていること
-白血球数正常
-CRP
-肝酵素　AST, ALT ≦ 2×上限基準値以下
ALT>ASTで高値の場合（「B型・C型肝炎などウイルス性肝炎」を強く疑う
-腎機能　BUN ≦ 25 mg/dL、Cr ≦ 1.2 mg/dL、eGFR ≧ 60 mL/min/1.73m²
・血液による感染症否定検査を行う（移植２週間以内）
HBs抗原、HCV抗体、HIV抗原・抗体、HTLV-1抗体
梅毒（TPHA/RPR）必要に応じて
結核IGRA（必要に応じて胸部X線を併用）　必要に応じて
➡結果によっては、幹細胞移植を延期または中止する。

協会からのお知らせ

【　検証型歯髄再生治療に向けたご協力のお願い　】

歯髄再生治療症例のデータベース作成ご協力のお願い

歯髄再生治療症例報告　（https://forms.gle/gbrvfKAVEoRWH7VSA）

データベース作成の意義

1.　治療効果の評価:
①さまざまなケースにおける治療効果を客観的に評価し、治療法の有効性や限界を明らかにする。
②長期的な経過観察の蓄積を行い、治療の安定性や予後を予測するためのデータを集積する。

2．最適な治療法の選択:
患歯の状態や全身状態に合わせて、最適な治療法を選択するための根拠となる情報を提供する。

3．新たな治療法の開発:
①蓄積されたデータに基づいて、新たな治療法の開発や既存の治療法の改良につなげる。
②より安全で効果的な治療法の創出を目指す。

4．治療に関する知識の共有:
①ライセンス歯科医がデータベースにアクセスし、最新の治療に関する情報を共有できる。
②治療に関する知識の向上と、歯科医療の質の向上に貢献する。

5．エビデンスに基づいた医療の実現:
①多くの症例データを分析することで、エビデンスに基づいた医療の実現に近づく。
②患者さんへの説明の際に、科学的な根拠に基づいた情報を提供できるようになる。

歯科再生医療協会　ホームページ操作のご案内

歯髄再生治療の開設や技術に関わる書類・動画は歯科再生医療協会の HP よりご確認頂く事ができます。

①歯科再生医療協会のホームページ https://drma.or.jp/check/ へアクセスし【歯科医療従事者の方はこちら】をクリニックします。



こちらの QR コードから歯科再生医療協会の HP へアクセス頂けます。

②スクロールでページの最下部まで移動し、【再生治療開始施設専用ページ】をクリニックします。



③再生治療開始専用ページにてパスワードを入力します。

パスワード：drma0523

